

川を巡る——「河川塾」講演録—— 目次

まえがき..... 3

北海道・東北地方

北海道 明治から始まる川の利用..... 12

青森県 日本海側と太平洋側の両面を持つ..... 26

岩手県 北上川がつくり出す生活の舞台..... 35

宮城県 いまもつづく「川とどう付き合うか」..... 43

秋田県 米、鉱業、秋田杉——流域完結型の河川..... 51

山形県 落ち着いた川・最上川、だが..... 60

福島県 「江戸へ」通じる川..... 68

関東地方

茨城県 南北で異なる自然条件と川..... 78

栃木県 日光東照宮、鉍毒事件——歴史を刻む..... 86

群馬県 首都圏の水をまかなう..... 95

埼玉県 利根川と荒川——二つの川..... 103

千葉県 水不足の歴史が技術を生む..... 111

東京都 首都を支える三つの水系..... 120

神奈川県

変化する社会を川が映し出す

128

北陸・中部地方

新潟県

地汙りがもたらした災害と稲作

138

富山県

荒ぶる川とくらし

147

石川県

金沢を流れる二つの川

155

福井県

九頭竜川の恵みと災害

164

山梨県

武田信玄と甲州商人の足跡

172

長野県

地殻変動の激しい地域を流れる

181

岐阜県

木曾三川をめぐる治水の歴史

189

静岡県

三つの海に注ぐ多くの川

198

愛知県

多くの用水が現在をつくる

206

三重県

いきなり江戸へ向かわせた川と海

215

近畿地方

滋賀県

琵琶湖——関西の母なる水源

224

京都府

近代化を後押しした水利用

232

大阪府

水と共存する「水の都」

240

兵庫県

長い歴史を持つ川とのかかわり

249

奈良県

水の恵みがないゆえに

257

和歌山県

さまざまな水害と水の利用

265

中国・四国地方

鳥取県

三つの川に伝わる文化と歴史

276

島根県

神話の国を流れる川

285

岡山県

県下を流れ貫く3本の川

293

広島県

山の民、川の民、海の民が共存

301

山口県

川を使った高度な技術を育む

310

徳島県

吉野川をめぐる他県とのかかわり

318

香川県

水共同体の実験の場

327

愛媛県

洪水と濁水に悩む

336

高知県

清らかで荒れる川

344

九州・沖縄地方

福岡県

水の管理に知恵を絞る

354

佐賀県

河川開発の先進県

363

長崎県

水害と闘い、濁水と闘う

372

熊本県

粘り強く明るく

381

大分県

古代、中世から現代へと流れる

390

宮崎県

河口閉塞との闘い、水力発電の幸運

398

鹿児島県

火山との関係で決定づけられた川

406

沖縄県

勾配がきつい川、集中性の強い雨

415

あとがき

423

宮村 忠 (みやむら ただし)

1939 (昭和14) 年、東京生まれ。

関東学院大学名誉教授。河川工学専攻。工学博士。

著書 「水害 ～治水と水防の知恵」 (中央公論社 1985年)
「東京湾をあるこう」 (筑摩書房 1987年)
「くらしに生きる川」 (農山漁村文化協会 1989年)
「相模川物語」 (神奈川新聞社 1990年)
「改訂 水害 ～治水と水防の知恵」 (関東学院出版会 2010年)
「水のある風景」 (日刊建設工業新聞社 2010年)

かわ めぐ
川を巡る—「河川塾」講演録—

発行日 2013年7月31日 初版発行

著 者 宮村 忠
企画・編集 株式会社 建設技術研究所
発 行 者 大澤 正次
発 行 所 株式会社 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7 名古屋ビル本館
TEL : 03 (3259) 8719
FAX : 03 (3233) 1968
<http://www.kensetsunews.com>
カバーイラスト 小松 渉
装 丁 株式会社 クリエイティブ・コンセプト
印刷・製本 株式会社 シナノパブリッシングプレス

本書に掲載した地図の作製にあたっては、国土地理院発行の数値地図200000 (地図画像)、数値地図25000 (空間データ基盤) および数値地図50mメッシュ (標高) を使用しました (掲載ページ: 12、13、26、35、43、51、60、68、78、86、95、103、111、120、128、138、147、155、164、172、181、189、198、206、215、224、232、240、249、257、265、276、285、293、301、310、318、327、336、344、354、363、372、381、390、398、406、415)。
なお、地図画像の生成には『カシミール3D』 (<http://www.kashmir3d.com>) を使用しました。

落丁本、乱丁本はお取り替えいたします。
本書の全部または一部を無断で複写、複製することを禁じます。
©2013 宮村 忠・建設技術研究所, Printed in Japan
ISBN978-4-902611-50-2